

報道関係各位

2026年4月20日

日本建築学会教育賞（教育貢献）を受賞
対話型構造計算ノートアプリ「MystructureNote」が
技術者の思考と創造力をサポート



株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長：湯口達夫）が提供する対話型構造計算ノートアプリ「MystructureNote」を活用した教育実践が、2026年「日本建築学会教育賞（教育貢献）」を受賞しました。

建築物の安全を守るうえで、意匠・設備設計から施工管理までのあらゆる検討段階において構造安全性への意識が不可欠です。しかし、専門分化が進む建築設計の現場では、若手構造技術者や構造専門でない技術者が、荷重や応力を感覚的に理解する「構造的直観力」を育み、その思考プロセスを組織として共有するための仕組みづくりが課題となっています。

建築設計に携わるすべての技術者が構造的直観力を共有し、安全で魅力ある建築物を創り続けられる社会に貢献したい。このコンセプトのもと当社が開発した「MystructureNote」は、構造技術者のみならず、あらゆる技術者が自ら建築構造を手軽に検討できるデジタルノートアプリです。PCのブラウザやiPadのアプリからすぐにアクセスでき、手描き操作でモデルを描くと、リアルタイムに解析結果が可視化されます。さらに、試行錯誤のプロセスを記録・蓄積することで、これまで個人に閉じていた「構造の勘所」を組織の知見へと継承します。

「MystructureNote」の思考・操作・結果がシームレスに連動する体験は教育現場でも評価され、開発初期より延べ20校以上の大学で導入されてきました。このたび、本アプリを活用した大学講義での教育実践が、学生の構造力学に対する苦手意識を低減させ、構造力学の直観的理解

力を養う独自性の高い試みであるとして、当社と大阪公立大学講師の金子健作氏との共同受賞に至りました。

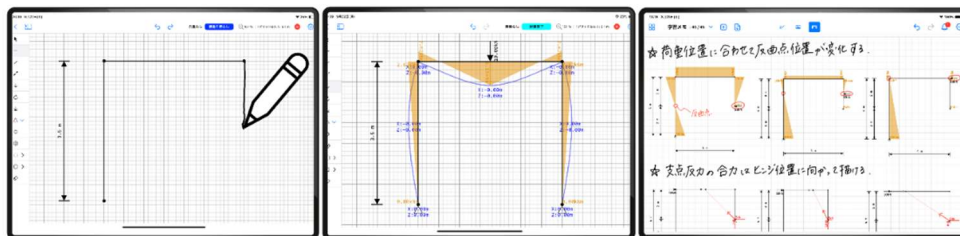


図1 「MystructureNote」利用イメージ（アプリ画面）



図2 「MystructureNote」を活用した教育実践の様子

日本建築学会受賞概要：<https://www.aij.or.jp/2026/2026prize.html>

「MystructureNote」の詳細：<https://mystructure-site.kke.co.jp/for/construction-worker-2/>

■ 今後の展望

「MystructureNote」は、国内大学の教育現場だけでなく、建設分野の様々な企業において、社内研修や設計・施工の現場で活用されています。これから建築を学ぶ若手から熟練のプロフェッショナルまで、今後も技術者に寄り添ったサービスを提供することで、次世代の構造技術者育成を支援し、より安全で魅力ある建築物の創出に貢献してまいります。

■ 会社情報

【株式会社構造計画研究所】

株式会社構造計画研究所は、工学知を用いて社会の諸問題の解決に挑む技術コンサルティングファームです。1956年に構造設計事務所として創業して以来、「大学、研究機関と実業界をブリッジする Professional Design & Engineering Firm」として、建設・防災、情報・通信、製造分野や意思決定支援など多様な領域に事業を拡げてきました。工学知をベースにしたエンジニアリングコンサルティングおよびプロダクツサービスの提供を通じて、複雑化する社会課題の解決に日々取り組んでいます。

会社ウェブサイト：<https://www.kke.co.jp>

■ お問い合わせ先

<製品、技術関係窓口>

株式会社構造計画研究所

マイストラクチャーチーム

T E L : 03-5342-1273

e-mail : mystructure-dev@kke.co.jp

<報道機関窓口>

株式会社構造計画研究所

営業・マーケティング推進室

T E L : 03-5342-1040

e-mail : kke-pr@kke.co.jp

※ 構造計画研究所および構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。

iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。